

科目名	担当教員名	授業形態	単位数	資格	大学 DP	学科 DP	学習成果
障害者福祉論	北村 香織	講義	2	社会福祉士	2	1, 2, 4	1, 2, 3, 4
授業概要 授業目的	この講義では、「障害」を社会との関係でとらえていくことによって、「障害」とは何か、「障害者」とは誰のことを指すのか、自分の生活と「障害者福祉」がどのような関わりを持つのかを学ぶ。講義中は視聴覚教材も使用し、障害のある人の生活に目を向けると同時に、障害に関する医学的及び制度的な知識を身につけることを目的とする。						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 障害者福祉に関する基本的な制度について理解する。</li> <li>2 障害に関する正確な知識を身につけ、生活課題との関連を考察できるようになる。</li> <li>3 社会における「障害」の位置付け、自身の「障害」の捉え方について考察できるようになる。</li> </ol>						
回	学習内容						
1	オリエンテーション：障害観の変遷から						
2	「障害」という概念について						
3	障害のある人の生活（身体障害とは？）						
4	障害のある人の生活（知的障害とは？）						
5	障害のある人の生活（精神障害とは？）						
6	障害があるということ～精神障害者政策の歴史から学ぶ						
7	障害のある人の生活（発達障害とは？）						
8	障害のある人の生活（障害のある子どもと家族）						
9	優生思想と障害学						
10	障害のある人の生活を支えるサービス体系						
11	障害者総合支援法						
12	障害に対する社会意識 ―偏見・スティグマ・差別						
13	障害者権利条約と障害者差別解消法						
14	障害者福祉を支える理念・思想（ノーマライゼーション、ソーシャルインクルージョン）						
15	試験及び試験終了後に、障害者福祉を支える理念・思想（エンパワメント、糸賀一雄の思想）						
予習内容 復習内容	予習：講義中に示す文献に目を通す等。 復習：ノートの整理と考察メモを書き込む。						
教科書	竹端寛他編（2017）『障害者福祉 第2版』ミネルヴァ書房。 参考文献は適宜提示。資料は必要に応じて配布。						
成績評価	試験 80%、小テスト 10%、授業ごとに提出するレポート 10%。 6回以上欠席をした場合、試験の受験資格はありません。						
実務経験	障害者支援施設での勤務経験有。生活支援に関する課題等について重点的に取り上げます。						
その他 特記事項	講義は教員と受講者双方で創るものです。積極的な参加と講義環境保持を求めます。						